

NPO法人兵庫脊椎脊髄病医療振興機構(HOSD) 第9回市民講座 「首と腰の悩み」市民講座

市民講座も第9回となりました。今回も前回と同じく、場所を三宮の海側、神戸国際会館の東南側、ジョーシン電気の北側にある「三宮プラザビル」の日本イーライリリー株式会社7階会議室を使わせていただくことにしました。アクセスの良い場所ですので、奮ってご参加下さい。

今回は神戸医療センターの宇野先生が「思春期特発性側弯症と学校検診」を、私が「手指のしびれと頸椎症そしてヘルニア」という題で講演します。側弯症専門医である宇野先生は思春期に発症する側弯症について学校検診の状況と最新治療についてお話します。私は「手指のしびれ」という「頸椎」特有の症状の説明から始めて、頸椎症やヘルニアといった「頸椎」の病気についての理解を深めていただこうと思っています。講演終了後には、いつものように、市民会員の皆様と簡単な懇談会を開催する予定にしています。まだまだ不慣れですが、この講座や懇談会を、より楽しくなごやかで、大きい広がりのある「つどいの場」にすることができればと考えています。2月の寒い時期ですが、いつものように、熱く楽しい日曜午後のひと時にしたいと思っていますので、気軽にお越しください。お待ちしております。(理事長: 鷺見正敏)

1. 思春期特発性側弯症と学校検診

講師: 宇野耕吉(うの こうき)

国立病院機構神戸医療センター 外科系診療部長
(NPO法人兵庫脊椎脊髄病医療振興機構 副理事長)

側弯症学校検診は、学校保健法で義務づけられ小学校入学時より中学卒業まで毎年何らかの形で検診が行われています。ただその具体的方法については各市町村にまかされており、検診後の治療体制に関しても地域によって大きく隔たりがあります。側弯症専門医として学校検診や側弯症治療に20年以上かかわってきましたが、この地域差は、全く解消されていません。また側弯症治療そのものも大きく様変わりしてきました。講演では、学校検診の具体的な方法と意義、現在の治療の考え方等をわかりやすく説明します。

2. 手指のしびれと頸椎症、そしてヘルニア

講師: 鷺見正敏(すみ まさとし)

神戸労災病院 副院長
(NPO法人兵庫脊椎脊髄病医療振興機構 理事長)

手指のしびれでお困りの方は多いようです。MRIを撮られて、「頸椎」が悪いと言われ、「寝たきりになりますヨ」と脅されている方はたくさんおられます。ただ、多くの方は「50肩」など他の病気が原因でしびれているようです。「頸椎」が原因でしびれがあっても、すぐ「寝たきり」と直結させておびえ過ぎる必要はありません。この講座で「頸椎」をより良く理解いただければと思っています。



日時: 平成26年2月23日(日) 午後14時~16時

場所: 日本イーライリリー株式会社(三宮プラザビル)7階会議室

※神戸市中央区磯上通7-1-5 (「三宮」から南へ8分。Joshin Mitsumi Bldg北側。ビルは広場の奥になります)

共催: NPO法人兵庫脊椎脊髄病医療振興機構

(Hyogo Organization for Spinal Disorders: HOSD)

NPO法人日本脊柱変形協会

(Japan Spinal Deformity Institute: JSDI)

日本イーライリリー株式会社

<託児スペースのご案内>

当日、託児スペースをご用意しております。ご希望の方は下記へお問合せください。(要予約: 締切2月10日)

<お申込方法>

●会費 1,000円 (HOSD市民会員・18歳以下は無料)

●事前申込必要(先着: 200名) 締切: 2月17日(月) 必着

参加希望の方は、ハガキかメールにご住所、お名前、お電話番号を記載し、下記にお送りください。

宛先: NPO法人 兵庫脊椎脊髄病医療振興機構

【ハガキでお申し込みの方】〒651-0094 神戸市中央区琴ノ緒町5-2-2 三信ビル401

【メールでお申し込みの方】 hosd110301@hosd.or.jp

●お問合せ先: TEL: 090-4645-4595 ※お送りいただいた個人情報は、法令に則り、取扱いいたします。